

日本A級ディンギー協会  
チーム活動状況アンケート 集計結果

アンケート期間 平成28年1月23日～2月15日  
回答チーム 20チーム(回答率 43.5%)  
集計 日本A級ディンギー協会 飯泉庸一

**1. A級ディンギー保有艇**

20チーム 35艇 平均1.75艇

**保管状況**

屋外 15チーム ハーバー陸置き等  
屋内 5チーム 大学ヨット部艇庫等

**2. 主たる活動人数とその方々の年齢層(平均)**

チーム人数 おおよそ 歳 ～ 歳  
9.3 55.6 ～ 76.7

**3. 主たる活動内容(該当するものに○をお付けください。複数選択可)**

**a. 練習会の実施**

年間実施回数	おおよその参加人数
3～5回	2～3人
15回	3～4人
20回	6人
数回	5人)
27回	7人
1回	3人
10回	延約60人
3回	毎回5～6人
30回	平均8名
5回	5人
2～3回	5人
4回	2人
3～9月x2回程度	10人
10回	4人

**b. クラブ内での定期・不定期の会合(懇親会含む)**

あり 7 チーム  
年間5回  
年1回の総会(艇庫2階で開催)  
6～7回  
12月納会。  
総会、祝勝会、コーキングの後の懇親会

**c. OB会行事などでの試乗**

特になし10チーム  
あり 4チーム  
OB会主催のファミリーサマーパーティーでの試乗 2チーム

**d. 全日本A級大会、東・西日本A級大会などへの参加**

参加 14 チーム  
可能な限り参加  
人員・予算の都合で参加。

**e. 他クラブとの合同練習会や懇親会の実施**

現在実施のチームは6チーム/20チーム

**f. その他(具体的にご記入願います)**

・元旦セーリング・GW強化合宿・全日本・東日本・県内のオープンレースがメインの行事

- ・同マリナーに保管している、東大、関東学院、学習院、早稲田等の各OB会と合同練習や、納会レースを行っている。
- ・練習と懇親を兼ねてハーバーの宿泊棟を利用して自炊しながら3泊4日程度の合宿を、年3回ほど行っている
- ・直近の阪大主管の7帝戦ではOB戦に使用(他校のA級艇もお借りして)
- ・県連主催のレース参加
- ・水域ごとの合同練習日などを設けては如何でしょうか。
- ・メンバーの奥様方の女子会なども開催

#### 4. 活動の財源(A級活動のための独自会費の有無など)

- ・会費とオーナーの寄付
  - ・オーナー負担
  - ・年間一人35000円の会費の徴収。大会参加の時は、参加費用と船陸送 費用等の経費を参加者で。
  - ・年会費(正会員)30000円(準会員)10000円 基本的にこの費用で艇庫借料、
  - ・レスキュー整備・係留費・燃料、登録費等をまかなう。緊急の整備など不足分は臨時徴収
  - ・会費を徴収(年間15,000円)
  - ・会員から 年会費2万円 参加者から1回500円の参加費 および任意の寄付金で運営(クラブ所有の デイセラー 維持費を含む)
  - ・大学OB会会員よりの個人的な支援メンバーの個人負担
  - ・大会参加費用は、参加者の負担にする予定です。
  - ・年会費一万円、レースの都度特別会費を徴収。
  - ・入会金と年会費
  - ・大会の参加費用:A級を建造するときに集めた寄付金の残金で年会費とヨットの運搬費を賄っている。その他の費用は 参加者負担で行っている。練習の費用は全額参加者負担。
  - ・会員40名より年間20,000円会費として 乗艇ごと食事代とて2000円徴収
  - ・主として、選手権参加者で負担。一部OB会から補助あり(10万円/年程度)。
  - ・大会は参加者負担。陸送・修繕等の共通費用は全員で負担。
  - ・会費はなし、必要に応じて募金する。OB会から年5万円の助成金あり。
  - ・年10,000円(年会費6,000円、寄附4,000~) 必要に応じて寄附集め
  - ・年会費徴収
- その都度(試合参加・艇修理等)かかる経費を按分して徴収。

#### 5. A級ディングー未経験者層へのチーム勧誘・技術伝承に関する状況

- ・新入会員時 試乗勧誘と レース練習参加を増やし、継続してもらう
- ・勧誘は行っているが応募者はほとんど無い。
- ・苦勞: メンバーの確保。
- ・工夫: 全日本大会への参加は家族、親族も共にする
- ・OBG会で参加者募集。
- ・他校メンバーもWellcome!
- ・機会あるごとに勧誘。東北学院大・東北大を中心に広く宮城の会員を。
- ・OB会(理事会、総会)や、機関紙等で広報活動をしているが、若手の新規加入は無い。
- ・経験者 未経験者を問わず会員の若返りを図るため勧誘を行っているが容易ではない、
- ・リタイア後入会予定者その他入会感触あり。
- ・経験者 未経験者を問わず会員の若返りを図るため勧誘を行っているが容易ではない、
- ・リタイア後入会予定者その他入会感触あり。
- ・大学ヨット部1年生に対するA級ディングーのセーリング指導
- ・昨年までの15年間は、OB会の中での希望者の出資と会費による運営・活動でしたが
- ・本年よりは親会のOB会が直接運営することになり、広くOB会員全体に啓蒙活動を行う予定です。
- ・東京の地元を離れて居りますので若手の勧誘には無理がありますのでなかなか難しいものがあります。
- ・未経験者も勧誘し、練習に参加してもらう。
- ・現役当時のスナイプ乗りにもA級選手として勧誘するが殆どの者が乗りたがらない。
- ・地元就職しているOBが少なく、65歳より若い世代の加入が全くなく 早晚活動ができなくなることが心配である。
- ・OB会にて情報収集するも A級は未経験との理由で若年層(40歳50歳)の開拓が進んでいない
- ・今年度よりクルーザーを利用して家族ぐるみでのセーリングの魅力を通して勧誘していきたい
- ・今後必要と感じている。これまでは特に行ってこなかった。

- ・OBレース時に若いOBや現役にも乗ってもらう。
- ・必要性を痛感していますが、方策は未定。OB会の助力を必要としている。

## 6. 今後のトピックス的な活動計画案や予定

- ・活動初心者又は女子レース等の参加機会あれば、目標できるかもしれません。
- ・今後2020東京五輪で江の島がセーリング会場になると、最大2年ほど江の島を離れなければならなくなる恐れがある。
- ・2017年に名取市閑上に被災したハーバーが復旧される。  
それに伴って、記念のレースを検討する。県連とも内々に話してるが・・・
- ・博多湾A級保存会で保管していた4艇を全日本参加のために40数年ぶりに本格レストア実施
- ・今回の小戸全日本では我々同様地元を離れヨットに乗る機会の少ない九州(主に唐津)の若いOB達6名程が関西法友のメンバーに加わりチャーター艇をお願いして交代でレースに参加する事を楽しみにしております。
- ・海外のレースに参加し見分を広め、懇親を深める。
- ・とくにありませんがルールを守って模範となるセーリングをすることで熟年層の開拓やスポンサーづくりができてくると思う
- ・高齢化がすすんでいる為、設備が充実している葉山新港を本年から主練習場とする計画。
- ・昨年念願の優勝をしましたので若い選手がますます張り切って居り小戸大会を楽しみにしております。  
頂いた優勝の盾は現在新西宮ヨットハーバーの関西ヨットクラブのクラブハウスの入り口に  
ジャパンカップの優勝カップなど大レースのカップの陳列コーナーに高々と掲げさせて頂いて居ります。
- ・艇の老朽化のため新艇が欲しい

## 7. クラブの活動に関しご苦勞されている点・工夫している点・アドバイスなど

- ・A級に如何に興味持ってもらうか？ 可能な限り HELMも経験させる事
- ・クルーのみでは奴隷艇で逃げる
- ・OBG.将来のOBG.になる現役ヨット部員への啓蒙。
- ・年々高齢化はどこのクラブでもあると思いますが、オール宮城としてA級経験者を探そうと思わずに勧誘します。ジュニアからグランドマスターズ まで広く門戸を開いています。
- ・老齡化による自然減対応および会の存続方法。
- ・高齢化により、活動参加者の減少に歯止めがかからない。
- ・やはり若い会員をどの様に増やしていくかが大きな問題である。
- ・練習時の安全確保が検討課題。
- ・経費節約のため大会の都度2トントラックをチャーターして交代しながら運転して運んでいるが、参加する者が高齢になってきて、今後は遠くの開催地に行くのが危険を伴う気がして難しくなってきた。
- ・資金集めが重要でいかに広く多くの方より年会費をいただくか
- ・主たる活動メンバーが高齡化、病気等で揃わないこと。参加者は減る一方。
- ・若手が入らない。年金者ばかり。
- ・高齢化対策が喫緊の課題、アドバイスをあれば是非お聞かせください。
- ・OB総会、倶楽部ニュースで会員募集
- ・めぼしい人材を3年先のリタイア後でも良いからと、声掛け。
- ・レースでは全員出場で優勝をめざしてます！ので大変です。